

# 読書離れに対する提案 読書する人を増やすための媒体研究

## Suggestions for reading away Media research to increase the number of people reading

大久保 潮音<sup>1)</sup>  
指導教員 氏家 和彦

1) サレジオ工業高等専門学校, デザイン学科, 生活文化マネジメント研究室

キーワード: 読書, 子供, 短時間

### 1. 研究目的

自分自身、読書が趣味ではあるが、歳を追うごとに読む時間が取れなくなってしまった。そのような状況で読書離れなどの問題が上がっていることを知り、本を読む時間を取る方法と、読書する人を増やしたいと思った。より多くの人々に読書の面白さや有効性を感じ、習慣的に読書を楽しんでもらうために、問題の起きる理由や解決策を明らかにする。

### 2. 調査内容

まず、読書趣味の人がどういったことから読書好きになったのかを調べたところ、本を読む事について児童に行ったアンケート結果(図1)では、保護者の読書好きの程度が高くなるにつれ、児童・生徒も読書が好きという回答が多くなっており、また児童・生徒が一月に読んだ本の数の統計でも児童・生徒が1冊以上本を読んでいる割合は、保護者の読書好きの程度が高くなるにつれ、高くなる傾向があった。

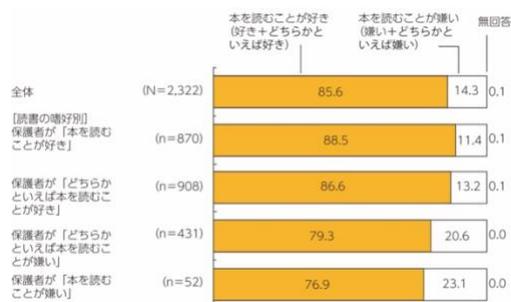


図1 本を読むことについて (全保護者の読書嗜好別)

なぜ本を読む時間が成長するにつれて取れなくなっていくのか(図2)については、学生から社会人となるにつれ、自由な時間が取りにくくなって行くことでネットサーフィンやゲームプレイ、動画視聴などの想像力を使わずとも理解しやすいものに走りがちということが分かった。

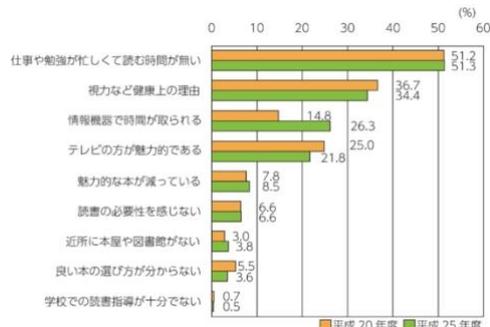


図2 読書量が減っている理由

また、小・中学生が読む本の傾向として『5分後に意外な結末』シリーズ等に代表される短編集も人気が出ている。さらに、読みやすい字間や大きさなどを調べた。一般的な書店で販売されているA6版の文庫本を基準とし、代表的な出版社数社から販売されている書籍の比較検討(図3)を行なった。



図3 六出版社の文庫本比較

### 3. コンセプト

ターゲット：児童・生徒・

コンセプト：短い時間でも楽しめる読書導入冊子  
スマートフォンやゲーム機を使用する合間や、  
休憩時間に文を読むという選択に行き着くもの。

### 4. アイデア展開

調査内容を元に、いくつかの小説文庫の字体・字の大きさをくらべ、読みやすい物を考える。また、持ち運びのし易い薄い冊子やパンフレットの形でいくつかピックアップされた小説の冒頭のみがまとめられた物や、同じ文を対応した年齢別に字体などを変え読み手に合わせて選べる書籍、図書館の利用をもう少し手軽に行えるようなものや、読んだ深度に対応したスタンプラリーのようなものを検討した。

これらは一回に読む量が少しでも、自分の読みやすい文体の書籍を習慣的に読むということに繋がってもらえるような仕組みを意識した作りになっている。

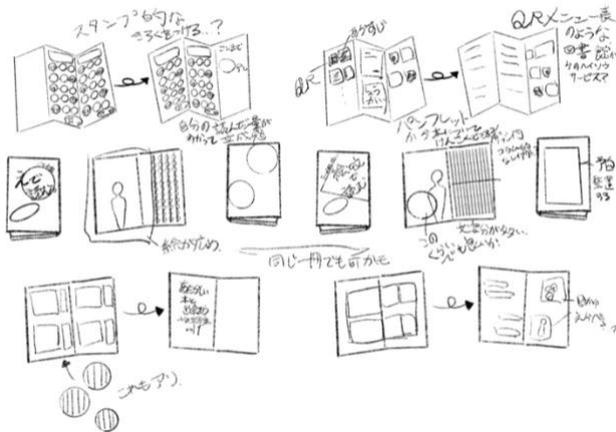


図4 アイデアスケッチの一例

### 5. 最終提案・課題

現段階では、文庫サイズの手軽に持ち運べる小冊子で、スキマ時間に読んだり、年齢に応じて内容が違う物が複数用意されていて、自分にあった物を選べるものを最終提案として考えている。

今後の課題点はどのような場面で提供するか、  
どういった形で手に取ってもらえるかの設定。

### 6. 参考文献

1) 「親と子の読書活動等に関する調査」文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/tosho/houkoku/05111601.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkoku/05111601.htm)  
平成 16 年度

2) 「平成 30 年度「国語に関する世論調査」」文化庁  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kokugo\\_yoronchosa/index.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/index.html)  
平成 30 年度

3) 「平成 25 年度「国語に関する世論調査」」文化庁  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kokugo\\_yoronchosa/index.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/index.html)  
平成 25 年度

4) 「OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA)」国立教育政策研究所  
<https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html#PISA2022>  
平成 30 年度

#### 5) 調査に使用した作品(抜粋)

「時をかける少女」筒井康隆  
角川つばさ文庫 2009 年 3 月 3 日

「孤笛のかなた」上橋菜穂子  
新潮文庫 2006 年 12 月 1 日

「ライオンと魔女」C. S. ルイス 訳 瀬田貞二  
岩波少年文庫 1985 年 10 月 8 日

「グリックの冒険」斎藤惇夫  
講談社文庫 1978 年 12 月 15 日

「少年探偵怪人二十面相」江戸川乱歩  
ポプラ文庫 2008 年 11 月 20 日

「あしながおじさん」J・ウェブスター 訳 坪井郁美  
福音館文庫